

令和2年度

事 業 報 告 書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

1 事業活動方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業の中止及び縮小を余儀なくされたが、感染症対策を講じながら再開したスポーツ活動等を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がい者の心身の健康増進及び機能回復を図ることで、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。

また、東京2020パラリンピック大会が令和3年度に延期になったことを受け、トップレベル選手への支援を継続するなど対応した。

2 事業内容（概要）

（1）障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

県障がい者総合体育大会は中止、全国障害者スポーツ大会も延期となったが、活動を再開した団体への助成等を行うことで、障がい者が身近な地域においてスポーツに取り組める環境の確保を図った。

- ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業
 - ・ 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 8件
- ② 福島県障がい者総合体育大会開催事業
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - （当初予定：令和2年5月17日（日）於：会津若松市 他）
- ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により年度内の開催中止
 - （当初予定：派遣期間 令和2年10月22日～10月27日
選手団人数 85名（選手51名、役員34名））

（2）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの普及・振興を図るため、研修会を開催し、指導員の養成に努めた。

- ① 初級指導者養成講習会開催事業
 - 期 日：令和2年12月5日（土）、6日（日）、12日（土）
 - 会 場：郡山市障害者福祉センター
 - 受講者：15名
- ② 障がい者スポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業
 - 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催（令和2年12月書面開催）

（3）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

団体競技の支援については、東北大会や強化合宿が中止となったため、実績がなかったが、個別選手の練習支援を行うことにより、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

- ① 選手指導者組織育成支援事業
 - 橋本勝也選手（ウィルチェアラグビー）への支援（令和2年4月～12月）
- ② 団体競技強化支援事業
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

東京2020パラリンピック大会を契機に、選手・指導者の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、トップレベルの選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

- ① 各種助成事業
 - ・国際大会等出場助成 実績なし
 - ・全国スポーツ競技会等出場助成 実績なし
- ② 運動導入教室開催事業
 - 【当初予定】全88回
 - 【実績】全4回 延べ21名参加
- ③ 地域スポーツ教室開催事業
 - 【当初予定】全70回（教室）、全6回（大会）
 - 【実績】全9回（教室）延べ160名参加
 - ※この他、「感染症対策事前講習会」を全6回開催（延べ39名参加）
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業
 - 【当初予定】11種目 延べ81回
 - 【実績】3種目 延べ6回（延べ221名参加）
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業
 - 2大会開催費用に対し助成
 - ※申請は7大会あったが、5大会は中止となった。
- ⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業
 - 指定選手数：3名
 - ふくしまパラアスリート支援事業 **【※補正予算(事業)】**
 - 指定選手数：15名

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

スポーツを通じた共生社会の実現を図るため、小学校等での出前講座を実施したほか、協会広報紙を発行し広く情報発信を行った。

- ① 障がい者スポーツを通じた共生推進事業
 - 出前講座等実績：14件
- ② 協会広報紙（令和2年度版）の発行

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を図ったほか、医科学委員会を開催し連携を深めた。

- ・各種障がい者スポーツに関する会議等への出席 2件
- ・障がい者スポーツ医科学委員会の開催（令和2年8月7日(金)）

(7) その他の事業

企業等が主催する事業への協力や企業からの助成金を活用した事業を実施することにより、障がい者スポーツ・福祉への理解を深めた。

① チャレンジド・スポーツ支援事業

- ・サントリーチャレンジド・アスリート奨励金※を活用した事業

障がい者スポーツ医科学委員会監修：「障がい児・者スポーツ指導ガイドライン」の作成と配布

※令和元年度採択助成金の残額（繰越し分）で実施

- ・サントリーグループが開催する事業への協力

中学校での車いすバスケットボール競技体験事業 1件

(8) **新型コロナウイルス感染症対策への取組【※補正予算(事業)】**

各事業等の再開にあたっては、参加者の安全・安心を第一に考え、感染症対策を徹底した他、県内障がい者スポーツ団体への感染症対策用品の提供等により、活動再開を支援した。

① スポーツふくしま・リスタート支援事業

各競技団体等へ感染症対策用品（消毒液等）の提供や物品（サーモグラフィーカメラ他）の貸出、チラシによる啓発を実施。

(9) **協会の運営**

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の適切かつ安定した運営を図るため、理事会、評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受け、運営体制の強化を図った。

3 事業内容（詳細）

【公益事業】（1）障がい者スポーツの大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	244,510 円
目的	障がい者のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与し、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成した。</p> <p>令和2年度実績</p> <p>（1）県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成</p> <p>助成先：8 団体</p> <p>助成額：240,000 円</p> <ul style="list-style-type: none">・特定非営利法人川俣町セルフかえで（30,000 円）・川俣町身体障がい者福祉会（30,000 円）・おのさくらクラブ（30,000 円）・みんなでスポーツ（30,000 円）・Let`s にしごう（30,000 円）・TEAM まきばの朝（30,000 円）・相馬身体障がい者福祉会（30,000 円）・アンビシャス（30,000 円）		
参考	【R元年度実績】助成先：9 団体		

事業名	②福島県障がい者総合体育大会開催事業	決算額	378,115 円
目 的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は第20回全国障害者スポーツ大会個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>		
内 容	<p><u>大会概要（実績）</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により<u>開催中止</u>とした。</p> <p>※当初予定：令和2年5月17日（日） 於 会津若松市他 11競技実施</p> <p><u>令和3年度（第59回）大会開催準備・調整</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係者調整会議の開催：令和2年12月16日 ○第1回運営委員会の開催：令和3年2月書面開催 		
参 考			

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	32,940 円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣する。また、同予選会を優勝した団体競技を全国障害者スポーツ大会に派遣する。		
内容	<p>「第20回全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）」派遣について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により<u>年度内の開催中止</u>（令和5年度へ延期）となった。</p> <p>※当初派遣予定</p> <p>派遣期間：令和2年10月22日（木）結団式、出発 23日（金）公式練習 24日（土）開会式 25日（日）2日目 26日（月）閉会式 27日（火）帰県（解団式）</p> <p>派遣人数：85名（選手51名、役員34名）</p>		
参考			

【公益事業】（２）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	決算額	313,127 円
目的	障がい者スポーツ指導者を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。		
内容	<p>令和２年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催</p> <p><u>開催概要（実績）</u></p> <p>期 日：令和２年１２月５日（土）、６日（日）、１２日（土）</p> <p>会 場：郡山市障害者福祉センター</p> <p>受講者：１５名</p> <p>共 催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会</p> <p>後 援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会</p> <p><u>講習カリキュラム</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツ推進の取り組み 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕 ・障がい者スポーツの意義と理念 ・コミュニケーションスキルの基礎 ・各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫 〔（一社）コ・イノベーション研究所〕 ・全国障害者スポーツ大会の概要 ・障がいのある人との交流 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕 ・各障がいの理解 身体障がい編 〔福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター〕 ・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 〔公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会〕 ・各障がいの理解 精神障がい編 ・各障がいの理解 知的障がい編 ・障がい者スポーツに関する諸施策 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕 		
参 考	福島県スポーツ推進計画において、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱されている。また、教育関係者が受講しやすいよう教育委員会と「共催」としている。		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	0 円
目 的	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導者を派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる指導者及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内 容	<p>事業概要 (実績)</p> <p>例年、指導者が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行っていたが、今年度は<u>新型コロナウイルス感染症の影響により参加希望者がいなかったため、実績なし。</u></p>		
参 考	<p>【R元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中級障がい者スポーツ指導員養成講習会」：2名 ・「障がい者スポーツトレーナー講習会」：1名 		

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,550 円
目的	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、当協会内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>各支部活動費として、助成金（計 300,000 円）を交付。</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、書面開催とした(令和2年12月)。</p> <p>(2) 役員会の開催 2か月に一度程度、役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>(3) 各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度程度、各部会の開催 ※(2)及び(3)については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン開催とした。</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	1,000 円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図った。</p> <p>・パラリンピックを目指す選手への支援 橋本 勝也（ウィルチェアーラグビー競技）…令和2年4月～12月</p>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成12年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成16年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成21年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成23年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成25年：水泳選手育成支援 平成27年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成28年：パラバドミントン選手支援 平成30年：ボッチャ競技選手支援 令和 元年：ウィルチェアーラグビー選手支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	0円
目的	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要 費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
内容	<p><u>事業概要（実績）</u></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道・東北ブロック予選会の中 止はもちろん、強化合宿や遠征等も軒並み中止となったため、<u>実績なし</u>。</p>		
参考	<p>【令和元年度実績】</p> <p>5競技団体を支援</p>		

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	決算額	0円
目的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員に対して、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>（１）国際大会等出場助成事業</p> <p>（２）全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>…いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、大会が中止となったため、<u>実績なし</u>。</p>		
参考	<p>自主事業</p> <p>【令和元年度実績】</p> <p>（１）国際大会等出場助成事業</p> <p>：個人競技選手及びスタッフ延べ6名へ激励金を支給</p> <p>（２）全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>：個人競技選手延べ4名、団体競技延べ10団体へ経費の一部を助成</p>		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	96,890 円
目 的	障がい者の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がい者が運動を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。		
内 容	<p>事業概要（実績）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、回数の制限及び規模縮小を余儀なくされたが、例年の参加者を中心に相談・指導を行った。</p> <p>(1) 実施期日及び回数 令和2年11月1日（日）、5日（木）、12日（木）、12月6日（日） …全4回実施</p> <p>(2) 実施場所 郡山市障害者福祉センター</p> <p>(3) 参加者数 延21名参加</p>		
参 考	<p>【当初開催予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：令和2年4月2日～令和3年3月25日 ・実施回数：全88回実施 ・開催場所：〔郡山会場毎週木曜日開催〕郡山市障害者福祉センター 〔郡山会場毎月第一日曜日開催〕郡山市障害者福祉センター 〔福島会場隔週火曜日開催〕NCVふくしまアリーナ 		

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	決算額	271,231円
目的	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、回数の制限及び規模縮小を余儀なくされたが、障がい者スポーツ指導者協議会の各支部が開催する、地域スポーツ教室及び講習会の開催費用等を支援した。</p> <p>○県北支部 スポーツ教室：1回開催（参加者：20名）</p> <p>○県中支部 スポーツ教室：2回開催（参加者：延べ21名）</p> <p>○県南支部 スポーツ教室：1回開催（参加者：11名）</p> <p>○会津支部 スポーツ教室：2回開催（参加者：延べ34名）</p> <p>○相双支部 スポーツ大会：1回開催（参加者：16名）</p> <p>○いわき支部 スポーツ大会：2回開催（参加者：延べ58名）</p> <p>各種教室 延9回開催 参加者数 延160名</p> <p>※上記の他、感染症対策事前講習会を各支部で（各1回）実施 （延べ39名参加）</p>		
参考	<p>【当初開催予定】</p> <p>各種教室：全70回、大会：全6回</p>		

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	375,559 円
目的	障がい者が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組むことに加え、一部の競技種目では中央競技団体等から講師を招き、全国大会等各種大会に出場できる選手の育成及び競技力の向上を図る。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、競技種目を限定、さらに回数の制限及び規模縮小を余儀なくされたが、例年の参加者を中心に開催、指導等を行った。</p> <p>●実施種目：3種目</p> <p>実施期日：令和2年11月8日～令和2年12月19日</p> <p>実施回数：延6回実施</p> <p>参加者数：延221名参加</p> <p>【種目ごとの実施状況】</p> <p>①陸上競技</p> <p>実施回数：2回</p> <p>実施期日：令和2年11月15日（日）、12月6日（日）</p> <p>参加者数：延80名</p> <p>②フライングディスク</p> <p>実施回数：2回</p> <p>実施期日：令和2年11月21日（土）、12月19日（土）</p> <p>参加者数：延105名</p> <p>③ボッチャ</p> <p>実施回数：2回</p> <p>実施期日：令和2年11月8日（日）、12月13日（日）</p> <p>参加者数：延36名</p>		
参考	<p>【当初開催予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施種目：11種目 ・実施期日：令和2年4月12日～令和3年2月14日 ・実施回数：延81回実施 		

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	144,210 円
目 的	<p>県内の各障がい者スポーツ競技団体は財政的に苦しい状況にあるが、選手に練習の成果を発揮する場及び実戦を通じた競技力向上を図るため、各種大会を開催していることから、県内で開催される各競技種目の大会開催に要する費用を支援する。</p>		
内 容	<p>事業概要（実績）</p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して開催経費の一部を助成した。障がい者スポーツ団体が財政的に苦しいなかで開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を図った。</p> <p>●助成大会 2大会</p> <p>※当初7大会の申請があったが、5大会が中止となった。</p> <p>①2020北海道・東北パラ陸上競技選手権 開催期日：令和2年11月21日（土）～ 22日（日）</p> <p>②第14回SFIDA-CUP大会 開催期日：令和3年3月20日（土）</p>		
参 考	<p>【令和元年度実績】7大会に助成</p>		

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業 ふくしまパラアスリート支援事業 ※補正	決算額	547,398 円
目的	<p>今後の本県障がい者スポーツを担うことが期待される選手を、「ふくしまネクストアスリート」として指定し、次世代のアスリートを育成する。</p> <p>なお、東京2020パラリンピック大会が延期となったことを受け、前年度まで指定していた「ふくしまパラアスリート」を継続して支援する。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>将来有望な選手を「ふくしまネクストアスリート」として新たに指定すると共に、前年度まで「ふくしまパラアスリート」として指定していた、東京2020パラリンピック大会への出場が有望である選手に対し、強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。</p> <p>○ふくしまネクストアスリート指定者 3名</p> <p>①矢内 菜々美（陸上競技）</p> <p>②松川 力也（陸上競技）</p> <p>③村山 涼（車いすバスケットボール競技）</p> <p>○ふくしまパラアスリート指定者 15名</p> <p>①吉田 信一（卓球競技）</p> <p>②石河 恵美（卓球競技）</p> <p>③佐々木 真菜（陸上競技）</p> <p>④橋本 勝也（車いすラグビー競技）</p> <p>⑤佐藤 智美（陸上競技）</p> <p>⑥豊島 英（車いすバスケットボール競技）</p> <p>⑦加藤 健人（5人制サッカー競技）</p> <p>⑧半谷 静香（視覚障害者柔道競技）</p> <p>⑨森谷 幸生（車いすバスケットボール競技）</p> <p>⑩遠藤 裕美（ボッチャ競技）</p> <p>⑪菅野 真樹（ボッチャ競技）</p> <p>⑫齋藤 由希子（陸上競技）</p> <p>⑬庭瀬 ひかり（陸上競技）</p> <p>⑭高橋 剛志（車いすテニス競技）</p> <p>⑮緑川 秀太（陸上競技）</p>		
参考			

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①【新】障がい者スポーツを通じた共生推進事業	決算額	0円
目的	<p>小中学校等への出前講座を実施するとともに、総合型スポーツクラブに対して障がい者スポーツの普及・振興のための助言を行い、将来的に総合型スポーツクラブにおいて障がい者が日常的にスポーツに取り組めるような基盤整備を行う。</p>		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>出前講座等実績：14件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月17日(土)福島市スポーツ振興公社主催 ボッチャ体験教室 ・10月22日(木)福島市障がい福祉課主催 ボッチャ講習会 ・10月31日(土)郡山市立宮城小学校 オリンピック・パラリンピック教室 ・11月17日(火)福島市立清明小学校 ボッチャ教室 ・11月20日(金)川俣町立富田小学校 ボッチャ体験 ・11月25日(水)いわき市立小川小学校 車いすバスケットボール体験 ・11月29日(日)伊達市月舘町糠田地域振興会主催 ボッチャ講習会 ・12月2日(水)会津若松市立城北小学校 講演会 ・12月7日(月)郡山市立安積第二小学校 ゴールボール体験 ・12月8日(火)いわき市立平第五小学校 ボッチャ体験 ・12月16日(水)福島県立たむら支援学校 ボッチャ体験 ・1月14日(木)郡山市立緑ヶ丘第一小学校 ボッチャ体験 ・1月15日(金)郡山市立御舘小学校 ボッチャ体験 ・1月15日(金)郡山市立白岩小学校 ボッチャ体験、ゴールボール体験 		
参考	<p>講座等依頼元からの費用工面につき、協会事業としての決算額は0円となっている。</p>		

事業名	②協会広報紙の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	440,730 円
目 的	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報紙を発行して情報提供を行う。		
内 容	<p><u>事業概要（実績）</u></p> <p>（1）広報紙の発行 令和2年度の活動状況等について報告・周知するため作成（2,000部）、関係機関や賛助会員等へ広く配付した。</p>		
参 考	自主事業		

【公益事業】(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	13,793 円
目的	各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
内容	<p>事業概要 (実績)</p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R 2 年度障がい者スポーツ東北ブロック連絡協議会 (オンライン開催) 開催日：令和 2 年 1 1 月 2 4 日 (火) 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員 1 名 福島県障がい者スポーツ指導者協議会会長 福島県スポーツ課担当職員 2 名 ・ 2020 年度全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技審判員養成講習会 (オンライン開催) 開催日：令和 3 年 3 月 2 0 日 (土) 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員 1 名 <p>②障がい者スポーツ医科学委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度福島県障がい者スポーツ医科学委員会 開催日：令和 2 年 8 月 7 日 (金) 会 場：福島県庁本庁舎 企画調整課分室 		
参考	自主事業		

【公益事業】（7）その他の事業

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	231,550 円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>①サントリーチャレンジド・アスリート奨励金※を活用した事業 障がい者スポーツ医科学委員会監修：「障がい児・者スポーツ指導ガイドライン」の作成と配布。 ※令和元年度採択助成金の残額（繰越し分）で実施。</p> <p>②サントリーグループが開催する事業への協力 チャレンジド・アスリートビジット等開催協力 …矢祭町立矢祭中学校での車いすバスケットボール競技体験事業に協力 (令和2年11月25日)</p>		
参考	<p>○東北サンさんプロジェクト サントリーグループが、「漁業」「子ども」「チャレンジド・スポーツ」「文化・スポーツ」の分野を中心に取り組む復興支援活動。</p>		

【公益事業】(8) 新型コロナウイルス感染症対策への取組

事業名	スポーツふくしま・リスタート支援事業 ※補正	決算額	6,142,249 円
目的	各事業等の再開にあたり、参加者の安全・安心を第一に考え、感染症対策を徹底するとともに、県内障がい者スポーツ団体に対し、感染症対策用品の提供等を行うことで活動再開を支援する。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>①県内障がい者スポーツ団体等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県障がい者スポーツ指導者協議会県内6支部へ感染症対策用品（消毒液等）の提供 ・ 各競技団体・クラブ等全9団体へ感染症対策用品（消毒液等）の提供 <p>…公募により下記団体へ支援を実施した。</p> <p>県パラ陸上競技協会、県障がい者フライングディスク協会、 県ボッチャ協会、県FIDバスケットボール連盟、県障がい者サッカー連盟、 県視覚障がい者福祉協会グランドソフトボール部、県視覚障がい者福祉協会サウンドテーブルテニス部、 県聴覚障がい者協会バレーボール部、 福島 Dreams(精神バスケットボールクラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体が主催する大会等における機材（サーモグラフィカメラ等）の貸出 <p>…11月14～15日：福島県FIDバスケットボール連盟主催大会 …11月21～22日：福島県パラ陸上競技協会主催大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策に関する助言等（医科学委員会の派遣） <p>…11月21～22日：福島県パラ陸上競技協会主催大会に医科学委員の医師（延べ3名）を派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チラシ等による啓発 <p>…スポーツ時の感染症対策に関する啓発チラシを作成（3000部）。 県内障がい者スポーツ団体等に配付した。</p> <p>②障がい者スポーツ協会各事業における感染症対策（運動導入教室開催事業、種目別教室開催事業等）の徹底</p>		
参考	サーモグラフィカメラ等の機材の貸出は、次年度以降も継続して実施する予定。		

【法人会計】（９）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	1,487,998 円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の開催経費他、租税公課、行政財産使用料等の適正な執行を行う。また、法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p>事業概要（実績）</p> <p>●会議の開催</p> <p>※（１）理事会と（２）評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためいずれも議決書略（書面開催）</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 第１回理事会 令和２年６月５日（金） 令和元年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 臨時理事会 令和２年６月３０日（火） 代表理事の選定について</p> <p>ウ 第２回理事会 令和３年３月３日（水） 令和３年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第１回評議員会 令和２年６月３０日（火） 令和元年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回評議員会 令和３年３月１９日（金） 令和３年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（３）監事監査</p> <p>令和２年５月２２日（金） 令和元年度事業実績・収支決算について</p> <p>●財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等</p> <p>菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、決算資料の検査及び消費税申告額の計算を依頼した他、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けた。当年度の実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R元年度決算資料検査・消費税申告額計算 令和２年５月１２日（火） ・会計事務見直し等に関する助言 令和２年１２月２日（水） <p>※この他、適宜電話やメール等で相談、助言等を受けた。</p>		
参考			